がんばろう

津波なんかに 負けない!

第364号 令和7年4月21日 末崎まちづくり 協議会

電話 (F兼) 29-2955

末

崎

公

民

改地

め区

ま

ち

づ

会

しぞてだ皆

しまがか

おの仕教

いど進い

で事え

うめた

をて

くすら

一末すろきなん

置議に開協日

す会つか議に令

るをいれ会「和

こ四て、一末七

と月承すの崎年

に一認べ設ま三

な日さて立ち月

りかれの総づ二

し設協案がり五

議会く十

まら `

進教図れては崎

と祉活情のとよ豊内ち

をの文操向とうかのづ

目増化の上もにに住く

的進の純とに課住民り

養るる心町ま

神 坂



厚感溢れる鳥居の奥に拝殿が見え

神坂(戸数66)は細浦の対岸一帯に開けたところ。 小高い場所には、何段にも住宅が並ぶ。海岸に立ち 止まると、水産加工場が操業し、岸壁には約 10 隻の 漁船が待機。さらに湾の奥まった所には正確に数えな かったが、20隻を超える小船がきれいに並ぶ。この 光景は、出漁を「今か、今か」と待ち構えているかの ようだ。 ここから足を延ばし、熊野神社(宮崎和貴宮 司)を目指す。

社殿はこんもりとした静かな森の中に佇(たたず) む。漁港からのエンジン音だけがわずかに聞こえる。 境内では狛犬が待ち構えていた。さて困った。神社 についてまったくの素人。祭神などの詳細は、末崎の昔を語る会が 2022 年 3 月に刊行した「末崎の昔さがし」(全戸配布)を、ご覧いただければ幸いです。 境内のすぐそばに、根元付近から数本枝分かれした

巨大な「カヤ」(周囲約 4.7 な)に目にとまった。市 の天然記念物(1972年3月)に指定されている。平 野太一新館長(61)は「みんなが笑って暮らせるよう な地域にしたい」と張り切る。 次は「中野」(U)

崎る教基興解発は 、地各育づ会決展 谁役区種 き」をす末れ 割公事学町と図る崎ま と民業術民社るよ町で十分館を文のサーインが け」行いかかった。 し事存「関の法町題よ町 た業在末す、に振のくで

くのしま浩せく まを崎をと結をま よ能いとが てでとつり私し設ま統「果組ちそうなる少 かとお末申か協はた立ち合末 織づこにまこ子市 すづし崎末しくで求ちと高よ らもり崎しつ議こ な地ま小また会の 、地崎検り \Diamond るく づか齢り が域し学す神の度 5 くら化人 こり新区町討検末 れ と協た公振を討崎ま 。坂会 **`**が口 り のた校 す人。に三の長ま に議に民興行委町し な会「館会つ員でたす続ん減 がも地勤年紀をち り一末一一た会は 。る可で少 よ域務前室仰づ

点る区協 し寄興を康町解続安議 て与と図の民決け心会「まよいきさ とさ公議「 いす社り増のをらし と民会末 てセ館」崎す まる会 ンとはま タ同、ち |様末づ すをに崎く 。拠ふ地り

こ福生

とに振化健

ご調ピすするセに時後いが後の月~ 利理 | が ° こンよま5ま交5午曜はか `有」タりで時す代時前日今る く、、印料が を えだ会体刷と を る `はか °でま 9 かまさ をふ事ら早常で時らでと さ議育機なで利る前午朝駐 `か土どセ い室室やりき用さ予後やし職ら曜おン やコまますと約9年て員午日りタ

題みが協

だを別感おた消 中 き掲紙謝掛い防 学 ま載に・けへ団 校 しさ団感しんの 閉 たせ員謝まなみ 校 てのでしごな い氏すた苦さ た名。。労ま

お

11

いまで替 いすごわン たが迷りバ し、惑まし ま よをし すろおた。 しか。 くけ不と くお覧いると 願 れ

管監監事事事会 理事事務務務長 人 局局局 員員長

高武大高菅金紀 橋田和橋原野室 葉英田美公一浩 子和勇江也郎 子

旧崎 末ま 崎ち 地づ 区く 公り 民協 館 議

、末

山三碁西中門小梅小平平小中神細峯船 根十石舘井之河神田南 細野坂浦岸河 浜 原 4 浦

山熊尾及佐田小小後熊金菅近平上濱松 本谷﨑川々畑松松藤谷野原藤野野瀬岡 木 太弘 孝佑芳宗泰司浩誠雄信一公栄太新 志弘郎也 一平徳夫夫 隆

令 地和 域年 公民党 館倫 長町 \mathcal{O}